

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

| | |
|---------|--------------------|
| 上位の施策名称 | 施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり |
|---------|--------------------|

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 農地整備課長 高橋 裕司 | 電話番号 | 0852-22-5149 |
|----------|--------------|------|--------------|

| | |
|---------|---|
| 事務事業の名称 | 地すべり対策事業 |
| 目的 | (1) 対象 地すべり防止区域内に農地を所有する農家及び区域内に居住する者 (2) 意図 地すべりによる農地及び家屋への被害を防止することにより、安全安心の生活や営農を確保する |
| 事業概要 | 地すべり被害を防止するため、被害地域に対して地すべり防止施設の新設や改良を行う。 |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 式・定義 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|-----|------------------------------------|-----|-------------------|--------|--------|--------|--------|----|
| | | | | 地すべり危険箇所の保全人口(累計) | 目標値 | 10,917 | 11,148 | 11,541 | |
| | | 前年度までの保全人口数+当該年度概成(対策工が終了)箇所の保全人口数 | 実績値 | 10,668 | 10,860 | 11,025 | 11,541 | | |
| | | | 達成率 | | 99.50 | 98.90 | 100.00 | | % |
| | 指標名 | 式・定義 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
| | | | | 目標値 | 0.00 | 0.00 | | | |
| | | | 実績値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | |
| | | | 達成率 | | 0.00 | 0.00 | | | % |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|------------|-----------|---------|
| 事業費(b)(千円) | 1,376,792 | 526,891 |
| うち一般財源(千円) | 28,026 | 4,040 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 平成26年度末までに、地すべり指定区域299地区に対し184区域で対策工が終了した。
- 地すべり防止区域の整備状況は61%であり、引き続き対策を推進していく必要がある。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 平成26年度は、国庫補助地すべり対策事業に加え県単県営地すべり対策事業を補完的に実施し、地すべり対策を推進した。
- 平成26年度末で、下記区域の7区域が新たに概成となった。
山の空、上ヶ山、石畑、戸倉(追加)、後畑、西谷、山寄(出雲市)

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 地すべり対策事業を推進していくための、十分な予算が確保出来ていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 地すべり対策事業の国費が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- 地すべり対策事業を効率的に実施していくためには、安定的な国庫補助事業予算の確保が不可欠。
- 地すべり防止施設を維持にかかるライフサイクルコストの低減を図る必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 国予算について、当初予算での必要額の確保が図られるよう機会を捉えて国に働きかけていくとともに、地すべり防止施設のライフサイクルコストを考慮した工事を実施しコスト削減を図る。
- 国庫事業のみで事業費が不足する箇所は、県単地すべり対策事業により予算を確保し地すべり対策を推進する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)